

# 24年度の決算報告

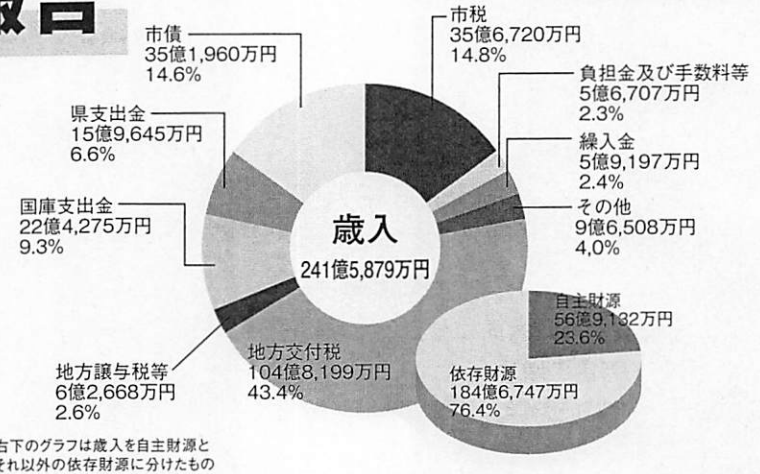
## 一般会計決算状況

### 【一般会計・特別会計】

#### 歳入は241億5,879万円

一般会計の収入済額は、前年度より8億1,393万円多い241億5,879万円。

債権放棄である不納欠損額は7,530万円、収入未済額は前年度より8,528万円少ない、4億6,081万円の決算となりました。



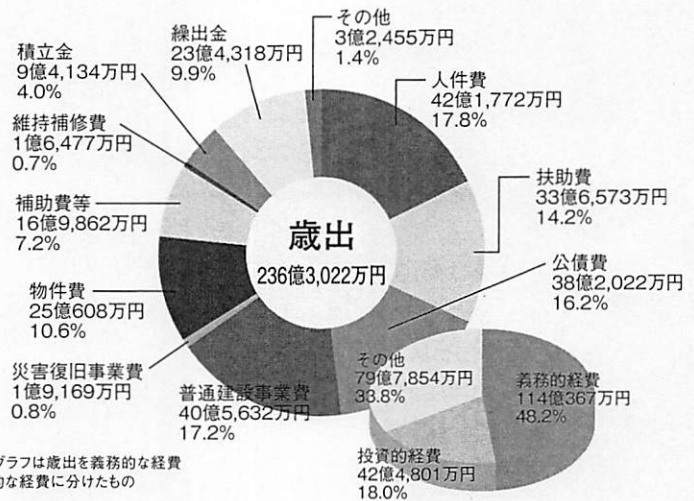
右下のグラフは歳入を自主財源とそれ以外の依存財源に分けたもの

#### 歳出は236億3,022万円

支出済額は前年度より6億5,463万円多い236億3,022万円。執行率は、86.1%となり、翌年度に繰り越した31億7,815万円を差し引いた不用額は6億5,248万円。

#### 特別会計は2億円の黒字に

10ある特別会計の歳入総額は127億5,238万円、歳出総額125億3,853万円。これらを差し引いた形式収支額は、2億1,385万円。翌年度に繰り越す1,003万円を除く、実質収支額は2億382万円の黒字となりました



右下のグラフは歳出を義務的な経費と投資的な経費に分けたもの

#### 市債残は3億円の増

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より1億5955万円増加し、319億690万円。特別会計分を合わせた市債残高は、3億237万円増加し、393億5,475万円となりました。

財政状況、財政健全化判断比率(11割)は、市のホームページで公開しています。  
<http://www.city.ohda.lg.jp/32.html>  
 詳細は、市役所財政課 (☎0854 - 83 - 8017) まで

### 特別会計決算状況

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	48億3,377	46億3,706	1億9,671
国民健康保険診療所事業	997	997	0
後期高齢者医療事業	10億1,625	10億967	658
介護保険事業	50億6,406	50億528	5,878
住宅新築資金等貸付事業	673	6,498	△5,825
生活排水処理事業	1億2,755	1億2,755	0
簡易給水施設事業	2億5,647	2億5,644	3
農業集落排水事業	7,074	7,074	0
大田市駅周辺土地区画整理事業	8,361	8,361	0
下水道事業	12億8,323	12億7,323	1,000

- ◆ 一般会計市債現在高 319億690万円
- ◇ その他特定目的基金 32億853万円
- ◇ 減債基金 22億879万円
- ◇ 財政調整基金 28億819万円
- ▼ 24年度末の基金・市債の状況
- ▼ 衆議院総選挙及び国民審査執行経費 26997万円
- ▼ 新エネルギー推進事業 2239万円
- ▼ 定住対策事業 1092万円
- ▼ 協働によるまちづくり推進事業 2996万円
- ▼ 空き校舎活用整備事業 5146万円
- ▽ 地方バス路線確保対策事業 1億1552万円
- ▼ 消防緊急無線広域化・共同化整備事業 1億7033万円
- ▽ その他 2592万円
- ▼ 石見銀山落石対策事業 1億6960万円
- ▼ 仁摩中学校耐震補強・大規模改修事業 1億9477万円
- ▼ 大田市民会館耐震改修事業 11億9477万円
- ▼ 教育・文化

## 24年度の決算報告

### 【企業会計】

## 病院事業(市立病院)

当年度純損失は約5億3千万円

### 収益的収支

収入は、34億9,937万円。医業収益が患者数の増加などで、対前年度比8.2%増となり2億6,503万円の増額。

支出は40億2,745万円。患者数の増加に伴う材料費・経費の増額などにより、対前年度比3.1%増の1億2,260万円の増額。

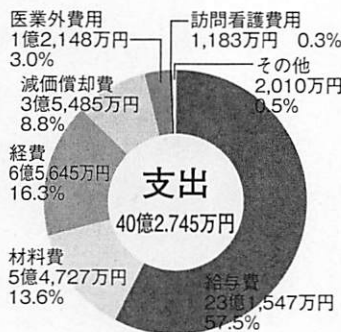
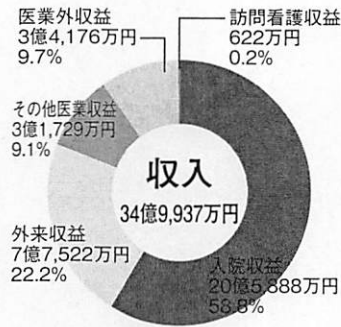
単年度の赤字幅は1億4,243万円減額し、差し引き5億2,808万円の当年度純損失が生じました。結果、前年度の繰越欠損金33億30万円を合わせ、24年度未処理欠損金は38億2,838万円となりました。

### 資本的収支

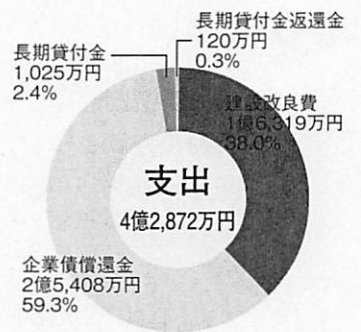
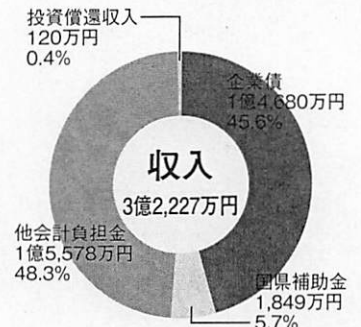
医療機器等の整備及び、企業債の償還等により収支不足1億645万円が生じました。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

### 収益的収支



### 資本的収支



### 24年度の患者数

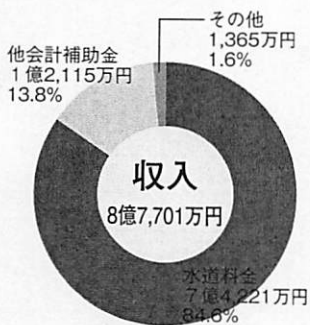
入院患者数	延60,843人 (前年度比4,268人増)
外来患者数	延95,410人 (前年度比4,147人減)
訪問看護利用者数	延613人

(平成24年8月23日から実施)

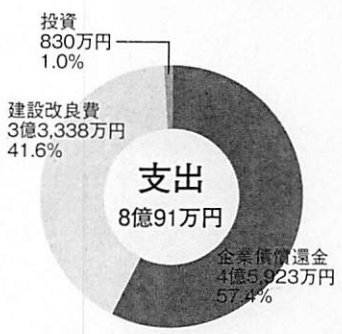
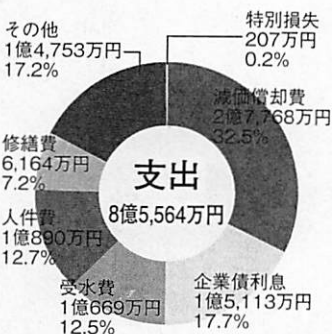
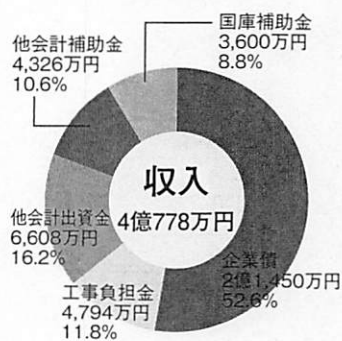
## 水道事業

当年度収支で2千万円の黒字

### 収益的収支



### 資本的収支



### 収益的収支

収入は8億7,701万円。水道料金は微増しましたが、他会計からの補助金が減額となったことなどから、対前年度2.4%減の約2,122万円の減額となりました。

支出は8億5,564万円。浄水場の使用薬品単価や人件費、受水費、企業債利息の支払額が減少したことで、対前年度1.0%減の843万円の減額となりました。結果、収支は2,137万円の黒字となり、これに前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は、2億6,145万円となりました。

### 資本的収支

建設改良事業では、配水管耐震化工事(石綿セメント管更新事業)、支障移転工事など32件の事業を実施。また、企業債の償還により、収支差引額3億9,313万円と翌年度工事資金2,161万円の合計4億1,474万円の資金不足が生じました。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。